



東陽の旋風^{かぜ} ～自律貢献～

令和5年12月22日（金）No 33発行
文責：松本 卓也

観光による地域活性化をどのようにマネジメントしていくのか？ ～八代市・明治大学ジョイントプロジェクト～

2015年（平成27年）、明治大学中野キャンパスにおいて、熊本県市長会連携講座「熊本の祭り」と「伝統芸能」が開催されたことをきっかけに、若者の視点から八代の観光を考える「八代市・明治大学ジョイントプロジェクト」が2017年からスタートしました。4年ぶりの開催となる今年、八代市は、「日本遺産を活用したツーリズム・マネジメント」。日本遺産の魅力を国内外の観光客に発信し、観光による地域活性化をどのようにマネジメントしていくのか？を学ぶ機会を設け、八代市に提言することが目的です。16日（土）、フィールドワークの一環として、18名の大学生が八代市にボランティアガイドを行いました。東陽町の観光資源の発掘に向け、メモを取りながら、多くの質問をされる大学生の皆さんに、子どもたちはタジタジになる場面も見られましたが、大観光客を対象に、ガイドツアーを企画し、東陽中がボランティアガイドを行う。」本校が考えている「世界の中の日本」、「日本から見た世界」の視点で考え、日本のよさを世界に発信していこうとする大学生の発想に大きな学びと刺激を受けました。とてもよい機会をいただきました。八代市文化振興課のO様をはじめ、ご尽力いただいた明治大学・国際日本学部のS講師、ゼミ生の皆さん、明治大学OBの皆さま方、ありがとうございました。



自己の限界に挑む ～校内持久走大会～

18日（月）、「Challenge Your Limits ～限界に挑戦せよ～」のテーマのもと、校内持久走大会を開催しました。女子の部では、八代中体連駅伝大会にも出場した1年Sさん、2年Yさん、Iさん、3年Iさんの4人が先頭集団を形成しますが、2週目にペースを上げたSさんが一気にリードをも広げ、優勝テープを切りました。男子の部でも大会に出場した2年Mさんがスタートから飛び出し、後半、2年Kさんの追い上げをかわし、1位でゴールしました。厳しい寒さの中大会でしたが、限界に挑戦し、倒れずに挑む姿や、勇気を与える声援をなかりました。



来年もたくさんの方がやってきますように・・・

14日（木）、昨年もお世話になったN様にご指導いただき、門松づくりを行いました。N様はじめ、学校の運営協議会にも参加し、2名が初めに竹の切り出し、3年保護者の2名が最初、竹を運びます。午後、作業で、コツコツと汗を流しながら、生徒も出てきて、褒められ、今年も立派な門松が完成しました。切りくたの笑顔が、来年もたくさん来たいと思います。学校にいらした際には、ぜひご覧下さい。



【編集後記】令和5年（2023年）の終わりに・・・

▼明日から冬休み。2023年も、あと9日で終わります。新型コロナウイルスの感染防止の位置づけが「5類」に移行した5月8日以降は、東陽小中合同運動会をはじめ、さまざまな教育活動が4年振りに再開されました。経験のない中、子どもたちは思いを伝え、仲間と協力しながら取り組んでくれました。この9ヶ月、大きな成長や学びを味わった。▼来年2024年をどんな年にするのか？昨年同様、子どもたちには自分自身を切り拓いていってほしいと願います。▼保護者の皆さん、ご協力いただき、ありがとうございました。来年も、皆さまの応援を待ちます。今年も、皆さまの応援を待ちます。今年も、皆さまの応援を待ちます。今年も、皆さまの応援を待ちます。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）